

# STOP / 斑点米!!

今年も斑点米カメムシ類の発生が多い!



体長約 5~7mm

アカスジカスミカメ



実物はこんなに小さい!



体長約 6mm

アカヒゲホソミドリカスミカメ

## ☑ 水田周辺の継続的な草刈り

出穂 2 週間前頃 (7 月中旬頃) まで、畦畔、農道、休耕田等の除草対策を徹底し、斑点米カメムシ類の密度低減を図りましょう!

## ☑ 水田内の雑草を確実に除去

水田内のノビエやホタルイは斑点米カメムシ類の生息地となり被害を助長します。

適切に除草剤を施用し、残草を処理しましょう!

## ☑ 基本防除は穂揃期とその7~10 日後の2回

基本防除後に斑点米カメムシ類の発生が確認された場合は、さらに7~10 日後に補完防除を実施します。

地域ぐるみで対策し、防除効果を高めましょう!

万全の対策で最高のお米を届けましょう!

カメムシ被害防止対策キャンペーン実施中!

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動 村山地域本部

事務局：村山総合支庁産業経済部農業技術普及課 (023-621-8294)  
同 西村山農業技術普及課 (0237-86-8301)  
同 北村山農業技術普及課 (0237-47-8631)

# 渇水の状況と今後の対応について

## ◎ 主な農業用ダムや農業用ため池の貯水率

- ・ 今年には田植え時に、ダムやため池から放流したため、現時点の貯水量は平年より少ない。
- ・ 6月15日時点の村山地域の貯水率は40%～100%で、村山地域平均では約7割の貯水率となっている。

## ◎ 現在までの対応

- ・ 揚水機の稼働時間の延長や、例年に行わない農業用ため池の放流により用水を確保するとともに、節水対応やきめ細やかな用水管理をお願いしているところです。

## ◎ 今後の対応（効率的な水管理）

- ・ 地域全体に用水が行き渡るように「水資源」の有効利用に努めながら、 気象条件や稲の生育に合わせた水管理を徹底しましょう。

- ・ 莖数を確保したら（6月下旬から）中干しを始めます。効率的に圃場に水を行き渡らせるために、作溝もしっかり掘りましょう。
- ・ 中干し終了後は、間断かん水（2日湛水2～3日落水）に移行。
- ・ 節水を図り用水を効率的に利用するためには「飽水管理」が有効です。

## 村山総合支庁産業経済部

（やまがた温暖化対応米づくり日本一運動村山地域本部）